

茅ヶ崎市 津波 ハザードマップ CHIGASAKI CITY TSUNAMI HAZARD MAP

もしもの「備え」と生き残る「覚悟」

平時から避難先や避難経路などを確認して備えよう

くらし安心部防災対策課 電話: 0467-81-7127

4 ハザードマップの使い方

[STEP1] 自宅付近の状況を確認する

自宅周辺の標高や基準水位、津波到達時間を事前に確認します。

[STEP2] 避難先を決める

避難先は、避難対象地域内に長時間取り残されるなどのリスクを避けるため、原則として「避難対象地域外へ出ること」を優先して決めます。しかし、浸水が始まるまでに「避難対象地域外へ出ること」が困難な場合は、避難対象地域内の津波避難ビルなど高い場所を選定します。

日々のうちに、津波到達時間を目安に、避難先にたどり着くまでの移動距離と所要時間を確認していくなどの避難先を事前に考えておきます。



[STEP3] 避難経路を決める

避難経路は、地下道や地震時に家屋倒壊により通行不可能となるおそれのある場所など、危険な箇所を避けて決めます。最短経路だけではなく、複数の経路を考えておくことが重要です。



[STEP4] 避難行動を確認する

実際に避難経路を歩いてみて、危険な箇所が無いか、夜に停電しても通れるかなどを家族や知人などと一緒に確認しておきます。



1 はじめに

自助・共助・公助の取組

防災・減災対策の基本は、自分や家族の命を守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政が取り組む「公助」をバランスよく高めていくことです。
防災力の向上には、皆さん一人一人の防災意識を高めることができます。



津波に備える

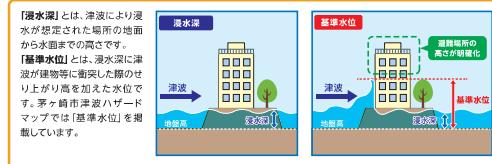
津波ハザードマップでは、地震により起こりうる津波の浸水範囲や高さ、避難先などを地図上に示しています。もしものときに少しでも被害を軽減できるよう、ごろごろ想定される災害と被害を知り、対策を考え、できるごとから取り組みましょう。

1 知る → 2 考える → 3 備える



自宅や学校、駅周辺の津波避難想定、避難先、津波到達時間などを確認し、知っておきましょう。なお、自宅などの基本水位位置(まっすぐおさかさ)で確認できます。

津波深・基準水位とは



5 津波避難に関する情報

大津波警報・津波警報・津波注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。その後、「津波の到達予想时刻」、「予想される津波の高さ」などの津波情報を発表されます。

警報の名称	想定される津波の高さ	避難対象・とるべき行動
大津波警報	10m超 (10m以上)	巨大 津波警報区域内やその付近にいる人は、ただちに避難対象地域へ避難する
津波警報	5m (3m未満~5m)	高 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに海岸や河川から離れる
津波注意報	1m (20cm未満~1m) (震度なし)	海の中や河の近くにいる人は、ただちに海岸から離れる

●海岸線に位置している基の防災用に用無線局外放送局等には、回転灯が設置されています。大津波警報・津波警報・津波注意報が発表される際に、回転灯が同時に点灯することで、津波に関する情報を伝えていきます。
●陸地に離れたところの方、波音で聞き取りにくい状況の方などは、津波が伝達される「津波フラグ」が掲げられます。避難のサインとして見ておき、津波フラグを見たら、ただちに避難しましょう。(サインピーチーがささ海浴場開設開始時のみ)

津波からの避難先

津波から命を守るために、避難対象地域外へ避難することが重要です。避難が間に合わないときや避けられた場合は、津波避難ビルや津波避難地、安全な高い場所へ避難しましょう。



津波避難ビルは、大津波警報が発表されたとき、避難対象地域外へ避難することが困難な場合に緊急または一時に多くの建物で、津波が建設所有者などと協議して建設します。避難の手順は次のとおりです。

- エンタラス(出入り)にホールドマークが付いた場所、そのままでいる。
- エンタラス(出入り)にホールドマークが付いた場所、住まいしは管理人にオートロックの解錠を依頼して入る。
- 緊急避難の際に発生した施設及び備品の搬出については、施設が基づき市が費用を負担します。

*指定緊急避難場所(津波)、津波避難ビル、津波避難地は、津波の危険から命を守るために緊急に避難するための一時的な避難場所です。水や食料などの備蓄はありません。

*津波避難ビルや津波避難地は、定期的に更新します。最新の情報は、市ホームページよりご確認ください。

*津波避難ビルや津波避難地は、定期的に更新します。最新の情報は、市ホームページよりご確認ください。

2 地震の種類や津波の特徴

地震の種類

内陸型地震 (直下型地震)

どこで起きる?

A. 内陸部の活断層や地盤である地震

B. 例えどの地震?

A. 兵庫県南部地震(阪神・淡路大地震)

B. 特徴はある?

A. 下から突き上げるような大きな断層が発達している

・特徴がある

A. 地殻がずれたり、長くゆっくりとした大きな揺れがかかる

・大規模な津波が発生することがある

海溝型地震

どこで起きる?

A. 隣接する海面のプレートの境界である地震

B. 例えどの地震?

A. 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

B. 特徴はある?

A. 地殻がずれたり、長い時間で

・特徴がある

A. 地殻がずれたり、長い時間で

・特徴がある

A. 大規模な津波が発生することがある

A. 地殻がずれたり、長い時間で

・特徴がある

津波のプレートの動きなどにより、他のプレートを圧迫し、内陸部の岩盤に歪みを生みさせます。

ひずみが大きくなると、内陸部の弱い部分でプレート内部の弱い部分で爆発が起こります。

ひずみが限界に達したときに、プレートのブレーカーが発生上がり、地震が発生します。その後、津波が発生する場合があります。

地震発生の仕組み

内陸型地震 (直下型地震)

1. 海底のプレートの動きなどにより、他のプレートを圧迫し、内陸部の岩盤に歪みを生みさせます。

2. ひずみが大きくなると、内陸部の弱い部分でプレート内部の弱い部分で爆発が起こります。

3. ひずみが限界に達したときに、プレートのブレーカーが発生上がり、地震が発生します。その後、津波が発生する場合があります。

津波の高さが限界に達したときに、プレートのブレーカーが発生上がり、地震が発生します。その後、津波が発生する場合があります。

海溝型地震

1. 海底のプレートの動きなどにより、他のプレートを圧迫し、内陸部の岩盤に歪みを生みさせます。

2. ひずみが大きくなると、内陸部の弱い部分でプレート内部の弱い部分で爆発が起こります。

3. ひずみが限界に達したときに、プレートのブレーカーが発生上がり、地震が発生します。その後、津波が発生する場合があります。

津波発生の仕組みと特徴

津波発生の仕組み

1. 地震により海底の隆起・沈没、海面の上昇・下降がおこります。

2. 海面が吹き飛ばされるなどして、沿岸部を襲います。

津波の遡上

津波は河川を遡上するため、海から離れた場所でも浸水する可能性があります。

予兆がなくともくる

必ずしも、津波の間に引き潮(子供)があるわけではありません。しかし、引き潮がくても、津波がくる可能性があります。

6 津波避難の心得

避難するための日ごろの備え

地震の揺れにより、建物の被害や家具の転倒などが発生すると避難ができなくなります。建物の耐震強度や家具の転倒防止といった対策に対する事前の備えを行い、揺れがおさまったときに「ただちに避難するための逃げ道」を確保できるよう対策を組みましょう。

津波避難の心得



津波発生の情報を見聞きしたら迷わず避難

地震の震度が高くなっている場合、地震の揺れを感じてないのに、大津波警報や津波警報が発表されることがあります。

大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されたときに、回転灯が同時に点灯することで、津波に関する情報を伝えていきます。

避難した後は、津波に関する情報を確認し、安全な場所から離れないようにしましょう。

津波は繰り返しやってきます。一度引いたからといって沿岸へ来るのは大変危險です。最後の津波の方が一番高いときは、最後の津波の方が高くなることもあります。



より早く、高く、遠くへ避難

津波の浸水深が30cm程度でも流れが速い足をとられてしまします。津波から命を守るために緊急に避難する場合は、津波避難ビルや津波避難地、安全な高い場所へ避難しましょう。



原則、徒歩で避難

車での避難は、地震による道路の損傷、建物の倒壊などの影響を受けるほか、渋滞により動けなくなるなど避難が逆戻りする可能性があります。また、徒歩避難者の円滑かつ安全な避難の妨げとなるため、車ではなく徒歩で避難しましょう。



3 ハザードマップの想定の基となる地震と津波

想定される地震と震源域

平成27年(2015年)8月に、県の沿岸における「津波高さ」または「津波深」が最大となる5つの地震の津波浸水予測図に基いて、「津波深」と「津波高さ」が最大になるように重ねあわせた図面「津波浸水想定図」を作成しました。



想定地震の概要

マップチャート

Mw=8.7

Mw=8.5

Mw=8.5